

「KRAS遺伝子変異解析」 検査中止のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、下記項目につきましては検査試薬の販売中止に伴い、本年5月29日をもって検査受託を中止させていただきますので、取り急ぎご案内いたします。

先生方にはご不便をお掛けすると存じますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■検査中止項目

- [8171] KRAS 遺伝子変異解析

■最終受付日

- 2015年5月29日(金)

※代替検査といたしまして、5月1日(金)より検査受託を開始いたしました下記の[8386]RAS遺伝子変異解析をご利用下さい。

項目コード	8386
検査項目名	RAS遺伝子変異解析*1
検体量/保存方法	パラフィン切片 5枚(5~10μm厚)*2,3/常温 または 未染スライド5枚(5~10μm厚)*2,3/常温
検査方法	PCR-rSSO法
基準値	設定なし
所要日数	5~8日
検査実施料	2,500点([D004-2]悪性腫瘍組織検査「1」悪性腫瘍遺伝子検査)
判断料	34点(尿・糞便検査等判断料)
備考	*1: KRAS遺伝子とNRAS遺伝子のcodon12,13,59,61,117及び146のアミノ酸置換を伴う遺伝子変異を検出し、変異の有無と変異型をご報告いたします。 *2: HE染色を行い腫瘍細胞が含まれていることが確認できた切片との連続切片(未染スライド)をご提出下さい。 *3: 腫瘍細胞の比率が少ない場合、より多い検体を選びご提出下さい。 長期間ホルマリン固定した組織や、ホルマリン固定前に室温放置が長い検体は、DNAの断片化によって検査結果が得られないことがありますので ご注意ください。
検査場所	LSIメディエンス(→1)

以上